

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 火災原因調査車更新事業
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	2	消防・救急救助体制の充実
小分類	2	消防力の強化・高度化
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化
事務事業番号	013	事務事業コード 23221013 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	火災原因調査車改造修理
------	------	------------	-------------

部 名	消防本部	グループ名	総務 G
-----	------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> 火災原因調査車
手 段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> 平成10年度に購入した、消防署警別支署配置の高規格救急自動車を平成21年度の更新に伴い、火災原因調査車として改造修理を行い再利用を図る。
目 指 す 姿 (成果)	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> 調査業務上、車内を有効な活動スペースに改造し、便利性を図ると共に災害現場での避難広報及び負傷者や罹災者の一時的な避難場所として後方支援的な活動が図れる。
根 拠 法 令 等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	高規格救急自動車更新に伴う火災原因調査車(改造)への再利用	台	目標値	1				
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,500					0
合 計				1,500	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	198	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		198	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？
災害現場での調査業務と共に避難広報及び罹災者の一時的な避難場所として後方支援的な活動に対応するためには妥当である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？
災害現場において、必要不可欠な車両である。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
調査業務等として必要な車両であり、今後も再利用（改造）を行い、消防活動の万全を図る。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？
経年劣化等による車両の再利用をするため、修繕費等の経費がかかる可能性がある。			

担当グループによる評価

終了	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	整備計画に基づき改造修理した。
----	----------------------------------	-----------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）